

令和 5 年 8 月 29 日 令和 5 年度第 2 回村長定例記者会見 記者会見要旨

記者会見の内容について

記者：「書かない窓口」のタッチパネル端末は、住民課に設置した後に税務課に移動させるのか。それとも、住民課と税務課に同時に 1 台ずつ設置するのか。

部長：住民課と税務課に同時に 1 台ずつ設置する。

【訂正】設置台数は 1 台で、まずは住民課に設置した後に税務課に移動させる。

記者：タッチパネル端末利用者の 96%が「次回も利用したい」と回答したが、利用者は何人いたのか。

部長：令和 5 年 8 月 15 日時点で、48 人が利用して、46 人が「次回も利用したい」と回答した。

記者：利用者はどのような年齢層か。

部長：担当課に確認してほしい。

記者：補正予算「多目的駐車場建設工事」について、新たに何台分の駐車場を整備するのか。

村長：建物（総合福祉センター）側に新たに 2 台分を整備する。

記者会見の内容以外について

記者：（処理水の海洋放出に関する）中国からの迷惑電話について、村役場や村内で確認されているか。

課長：令和 5 年 8 月 28 日時点、庁内の関係課や総合受付において、迷惑電話はきていない。

村長：現時点、村内（民間企業や施設等）での被害について、報告は受けていない。

記者：処理水の海洋放出について、村長はどのように受け止めているか。

村長：東海村は海沿いにあるが、漁港はない。住民に漁業関係者がいないため、当件について住民から直接問われることはない。周辺市町村の首長と話をしたが、苦渋の決断だろうなと感じている。漁業関係者の懸念も理解する。（国には）まずは風評被害が出ないように説明責任を果たしてほしいし、風評被害が出てしまったときは、速やかな補償も含めて対応してほしいと思っている。

記者：原子力首長懇談会のときに、再稼働の合意形成の話の中で、5 号検査前に了解を得るべきじゃないかというような話があったと思う。その後、6 首長で改めて話し合わなければならないという話があったかと思うが、首長懇談会を開く日程は決まっているか。

村長：まだ決めていない。他の首長から「協議しましょう」と問いかけもない。いずれかのタイミングで首長懇談会は開催したいと思っている。

記者：原子力首長懇談会から提出した原電との協議項目の件について、その後進展はあったか。

村長：特に進展はない。提出後、原電から「了解」という回答をいただいただけである。その後、協議項目について、首長間で協議していることもない。改めて原電で協議していることもない。

記者：原電から提示された拡散シミュレーションについて、先日の15市町村の会議（東海第二発電所安全対策首長会議）で、慎重な公表の仕方を求める意見が出ていたが、村長としてどう考えているか。

村長：UPZ内の市町村に関わってくることだと思う。東海村は全域PAZであるため、拡散シミュレーションの如何に問わず、（環境中に放射性物質が放出される）前に避難となる。東海村としては、拡散シミュレーションに左右されることはない。UPZ内の市町村にとっては気になる場所だと思う。各市町村の理解をいただきながら進めてほしいと思っている。

記者：避難計画策定について、現在の進捗状況はどうか。

村長：（避難先の）3市の中で、公共施設等でさらに利用できる場所はないか確認している。各々の面積に応じて、どのくらいの避難者を受け入れられるかを整理している。不足分は、民間施設や3市以外で可能性があるところを検討している。

記者：不足分への対応は、村として動いていることか。

村長：村として動いている。県は「第2の避難先」の使用を考えてほしいと言っているが、それはなかなか現実的ではないため、村で動いている。県や国と相談しながら、村ができる範囲で動いている。

記者：どのくらい不足しているか。数字は出ているか。

村長：現在整理している。

記者：「第2の避難先」とは何か。

村長：県は、各市町村の避難元と避難先のマッチングをしてくれているが、複合災害などを想定した場合は、避難先として「第2の避難先」が必要になると考えている。このことは県の広報紙にも掲載されていた。県は、各市町村に「適切な場所があれば使用してはどうか」と言っている。

記者：守谷市での避難訓練のとき、村長は、避難先の面積を「2㎡」と設定した計画で公表すると言っていたが、現在は、「3㎡」と設定した計画で公表することにしたのか。

村長：県では「3 m²」に設定している。村もそれに合わせて、防災基本計画では「3 m²」としている。「3 m²」の面積を確保してから、計画を公表すべきだと考えている。

記者：（「2 m²」に設定した計画をまずは公表して）「3 m²」にしたものを改定版にするのではなく、最初に公表する計画を「3 m²」に設定したものとするのか。

村長：「3 m²」を念頭においた計画で公表したいと考えている。

記者：「3 m²」がクリアできたら公表するのか。

村長：3市への避難訓練を実施し、その避難先の自治体にも経験を積んでいただいた。避難先の面積の確保以外のところで、現在の案を変えることは必要ないと思っている。その点を整理できれば公表できると考えている。